



©2005 石塚真一小学館

島崎三歩の山岳通信 特別連載 Vol.5

# 信州 山のプロフェッショナル

長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則 1 週間ごとにお伝えしている「島崎三歩の山岳通信」。その特別連載として、季節ごとに発行する「山岳情報」に登場！

信州の山で多方面に活躍する“プロフェッショナル”の方々の声を、皆様にお届けします！（聞き手：編集部）

## Vol.5 “山岳ガイド”のプロフェッショナル

北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会 白馬班 救助隊長  
北アルプス登山案内人組合連合会 会長 松本正信さん

### <プロフィール>

1948 年白馬村生まれ。会社員を経て、長野県夏山常駐パトロール隊の白馬班に所属し山岳救助に携わる。また、五竜岳・唐松岳・白馬岳など後立山連峰エリアの山岳ガイドのプロフェッショナルでもある。「日本の名峰 絶景探訪」をはじめ、数多くのテレビ番組に出演。バックカントリーのガイドとしても造詣が深い。民宿経営。



「夏山も怖い、冬山はもっと怖い」（松本）

**一現役の信州登山案内人で、地区の民間救助隊長でもある松本さん。登山者と遭難者を見つけてきて、最近の登山者の傾向、特徴などでお気づきの点はありますか？**

松本 今年の夏山は、猛暑で脱水や熱中症になる方、登山道が乾燥してスリップや転滑落する中高年登山者が多く、大町署では過去最多の 77 件の山岳遭難が発生しました。個人登山者は各自の体力・技術に見合ったコース選定を、ツアー登山では、ツアー会社が参加者の登山経験をしっかりチェックしてほしい。また、猿倉の登山相談所で、猿倉～大雪渓～白馬岳～祖母谷温泉の 1 泊 2 日以上必要なルートを、日帰りする予定で入山した単独の女性登山者に、白馬岳で宿泊するよう指導しましたが、宿泊せずに今でも行方不明になっているケースがあります。相談員のアドバイスに耳を傾けて、素直に聞いてほしい。



北アルプス案内人組合連合会、南北遭難協合同研修会にて

**一具体的にどのような遭難がありましたか？**

松本 今年の 9 月に、唐松岳ツアーに参加した 60 歳代の女性が唐松岳頂上山荘から下山中、登山道でスリップ転倒、骨折し、背負い搬送して八方池山荘に降りました。本人は、思った以上に大変なコースでしたと話していました。10 月には五竜岳から遠見尾根西遠見山付近を単独で下山中の 40 歳代男性が足を滑らせて骨折、15 時に通報、17 時 30 分に現場到着、22 時 30 分にテレキャビン山頂到着、県警と救助隊員 6 名で 70kg の遭難者を背負い搬送で降りました。より早く病院へとの思いで、テレキャビンを運航して

いただき、索道会社の御協力のおかげで救助活動がスムーズに出来ました。

**―登山者をガイドしていて「危ないな」と感じる登山者の方はいらっしゃいましたか。**

松本 初めての雪渓で、アイゼンの履き方も知らずに現場に来る方、雪渓トラバースでアイゼンをひっかける方、足つきや歩き方が危うい方など、登山の基本を説明することが多々あります。登山中に膝がわらったり、疲れてくると思考力が落ちて、ザレ場で滑る方も多いです。

**―バックカントリーのガイドもされていますが、スキー・スノーボーダーの最近の傾向や特徴を教えてください。**

松本 ジャパウ（ジャパンパウダー）の雪を滑りたいインバウンドの方、未圧雪を滑りたい方が増えています。雪崩の誘発、木に衝突して骨折、ホワイトアウト状況下での道迷い、沢筋に下りて戻れない等の遭難が発生しています。昔と違い、目的別にスキーも多様化しています。ビーコン・プローブ・スコップ等があるから大丈夫でなく、滑ることにより雪崩が発生することを認識して、雪崩のメカニズムを知り、弱層テストをした上で、気象・斜面・地形にそったバックカントリーをしてほしい。特に、許可されたコース外（パトロールエリア）を滑り、白馬ルール（P30 参照）を理解して準拠していただきたい。「積雪&斜度があれば雪崩はおきる」「夏山より冬山はもっと怖い」のです。



「事前に山をしっかりと調べて計画を立てることが、山の楽しみの一つ」（松本）

**―登山者やバックカントリースキー・スノーボーダーが安全に山を楽しむために、ぜひアドバイスをお願いします。**

松本 登山では、自分の足で登る体力や登山技術など総合力を身につけて、自分に合った山選びを特に考えてほしい。また、より高い山へ、より難しい山へのチャレンジ意識はいいが、ステップアップと山に登る回数を増やしてトレーニングを積むことを実践してほしい。バックカントリーでは、雪崩に巻き込まれないように、未然に雪質チェック、コース判定、ルートファインディング、天候、気候の状況を把握して入山してほしいです。



三国境から小蓮華山へのガイド中。高山植物のガイドにも定評がある

**―長年にわたって登山者やバックカントリースキー・スノーボーダーを見守る松本さんの熱い想いをお聞きました。夏山も冬山もオールシーズン楽しめるのも、登山・バックカントリーの大きな魅力ですね。ステップアップしながら、信州の山を安全に楽しみましょう！**